

# 施工説明書

## 小便フラッシュバルブ

一般用：UF-3J（標準）／UF-3JT（住宅用）  
 流動式：UF-3JH（標準）／UF-3JHT（住宅用）

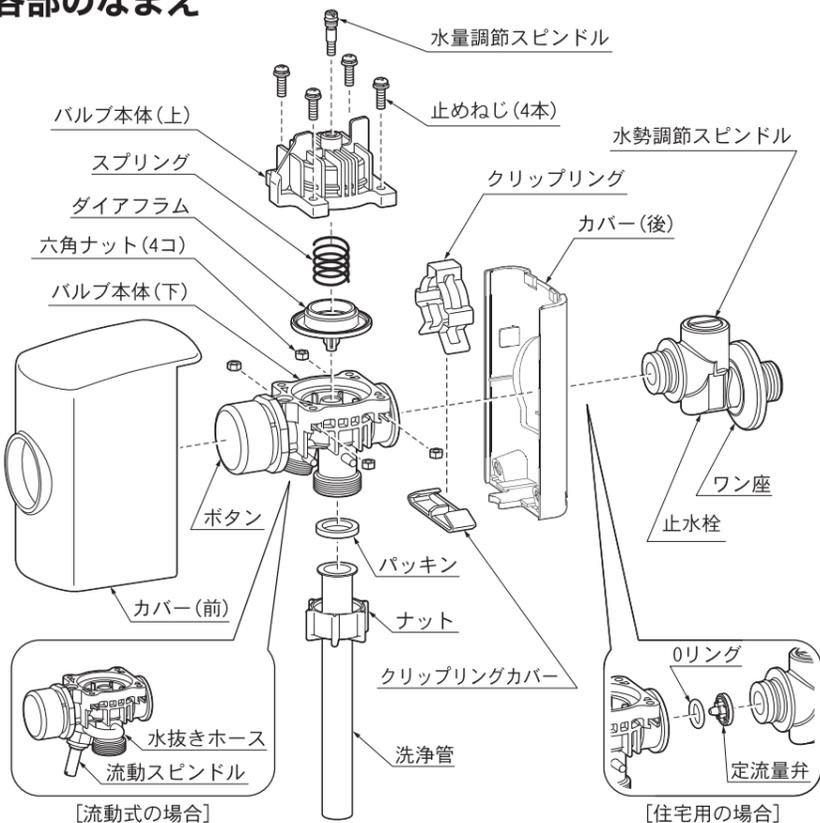
このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

### 注意

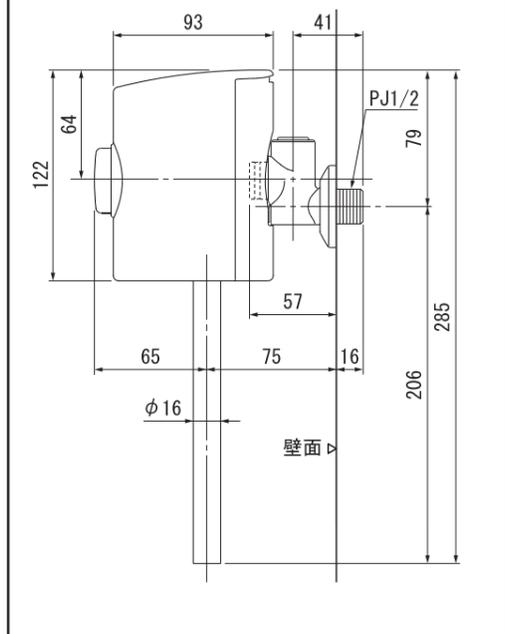
- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書（保証書付き）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

### 商品図

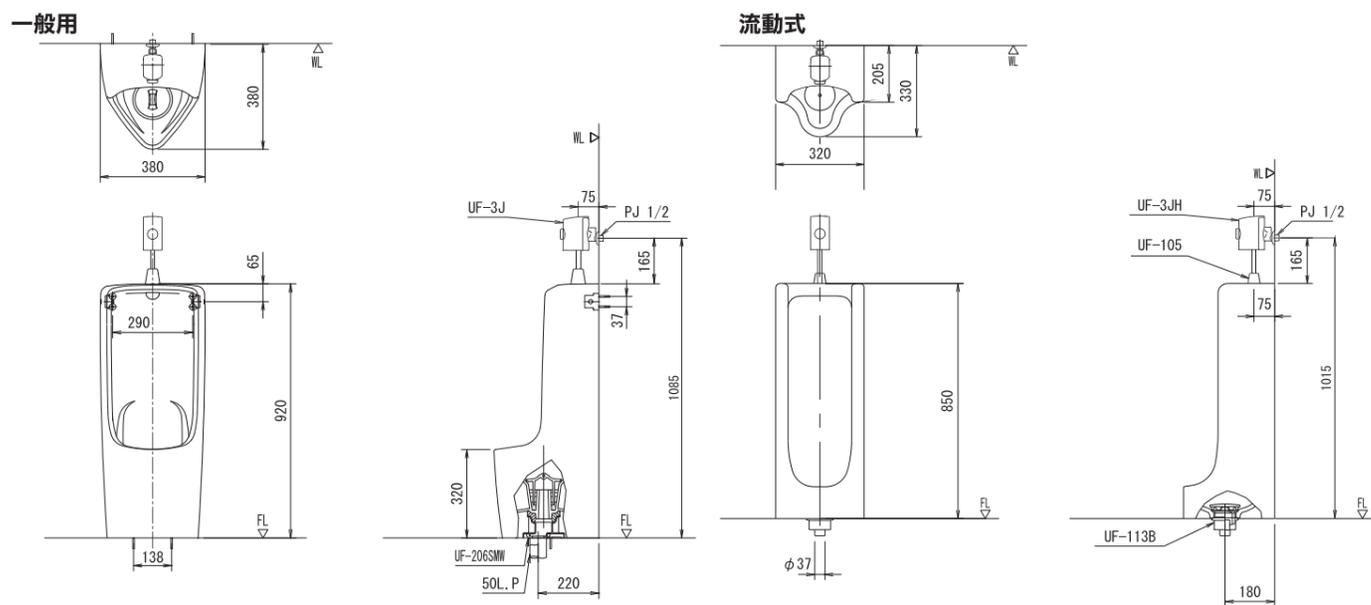
#### 各部のなまえ



#### 商品図



### 施工完了図



※上図は、U-321RM と組み合わせた場合です。

※上図は、U-103 と組み合わせた場合です。

### 安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な事故に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は取扱説明書と共に、お客さまに保管戴くよう依頼してください。

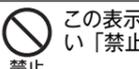
#### 用語および記号の説明



「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」



「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



この表示は、してはけない「禁止」の記号です。



この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

※ 物的損害とは、家屋、家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

### 注意



修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理・改造を行わないでください。  
 ※ケガをしたり、漏水、故障、破損の原因になります。



上水道以外は使用しないでください。  
 ※内部腐食や異物のつまりにより、故障の原因となります。  
 ※中水での使用の場合は、中水対応品（特注）を使用してください。



止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。  
 ※漏水によって建物、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。



凍結の恐れがある場合は、必ず流動式フラッシュバルブを使用し、流動操作を行ってください。  
 ※凍結により破損、漏水の原因になります。



必ず本書の指示どおり作業してください。  
 ※誤った方法で作業された場合、漏水する恐れがあります。

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。  
 ※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり漏水によって建物、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

### 仕様

品名	小便フラッシュバルブ
品番	一般用：UF-3J（標準）／UF-3JT（住宅用） 流動式：UF-3JH（標準）／UF-3JHT（住宅用）
使用周囲温度範囲	UF-3J、UF-3JT（一般用）：0～40℃ UF-3JH、UF-3JHT（流動式）：-10～40℃
使用水	上水（中水仕様は特注対応です）
給水接続口径	P1/2
給水圧力範囲	0.07（流動時）～0.75MPa（静水圧時）
洗浄水量調節範囲	2～4L（出荷時：2L）
対応小便器品番(代表)	2L スプレッダー式小便器 U-321RM、U-331RM、U-411R、U-431R、U-441R、U-406R リム式小便器（直管） U-311M、U-321P、U-103、U-106、U-112、U-114 4L リム式小便器（ヘリウズ管）* U-104U、U-104PM、U-280、U-504 *リム式小便器（ヘリウズ管）には、洗浄管UF-111-4(180)が別途必要です。

### 使用条件

#### 給水圧力

- 最低水圧  
0.07MPa 以上 [ 流動時 ]

#### ご注意

最低水圧を下回ると十分な水勢が確保されず、小便器の鉢洗浄ができません。また、止水時に異音や振動が生じる恐れがあります。

#### 2. 最高水圧

- 最高水圧  
0.75MPa 以下 [ 静水圧時 ]

#### ご注意

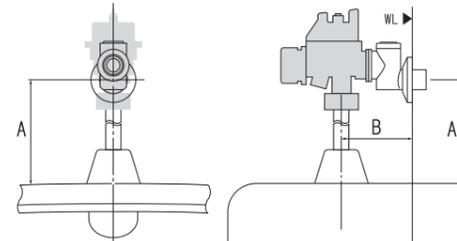
最高水圧を上回ると、故障の原因となります。

### 配管の条件

給水管接続部までの引込管のサイズは、15A 以上にしてください。

### 取り付け可能範囲

取り付け可能範囲は、下の表の通りです。  
 ※B寸法は標準寸法です。取付手順1 止水栓の取り付けを参照して取り付けてください。



	A (mm)	B (mm)
スプレッダー式小便器	140～215（基本寸法：165）	75
リム式小便器（直管）	110～185（基本寸法：165）	75
リム式小便器（ヘリウズ管）	165～185（基本寸法：170）	45

### 施工前のご注意

- はじめに、輸送中の破損がないことを確かめてください。
- フラッシュバルブを取り付ける前に、配管内のゴミ・水垢等の異物を完全に洗い流してください。
- 各接続部は、漏水が起こらないように確実に接続してください。

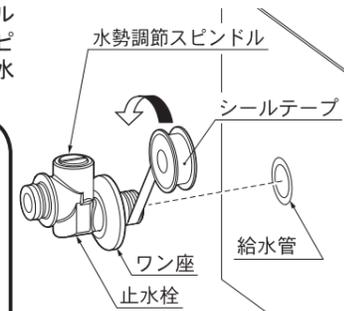
### 施工手順

#### 1 止水栓の取り付け

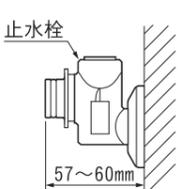
- 止水栓に矢印の向きでシールテープを巻き、水勢調節スピンドルが上を向くように給水管にねじ込みます。

#### ご注意

便器取付壁面から止水栓の先端までの距離が57～60mmになるように調節してください。  
 ※小便器に取り付けできない場合や、洗浄管の接続部から漏水する恐れがあります。



- 水勢調節スピンドルを右いっぱいに戻して閉めます。  
※止水栓取り付け後、ダイヤフラムの小穴がゴミ等でふさがると水を流すために必ず通水し、給水管内のゴミ・水垢等の異物を取り除いてください。  
※止水栓の取り付けは、小便器を壁に固定した状態で行ってください。



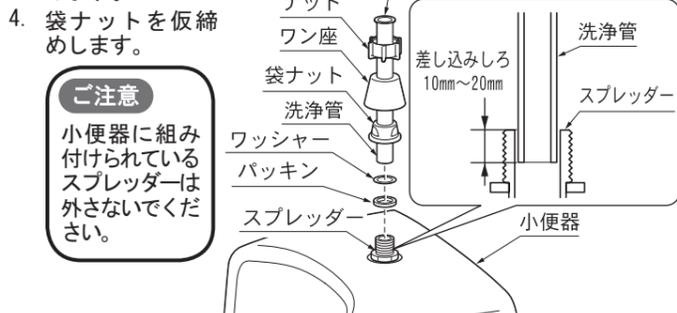
## 2 洗浄管の仮固定

- 洗浄管を適切な長さに切断します。

### ご注意

洗浄管を切断する際、ツバ部分を切断しないよう注意してください。スプレッダーに差し込むために必要な差し込みしろ(10mm~20mm)を残してください。

- 洗浄管にナット、ワン座、袋ナット、ワッシャー、パッキンを差し込みます。
- 洗浄管をスプレッダーに差し込みます。

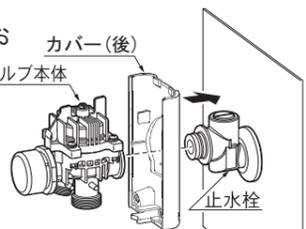


### ご注意

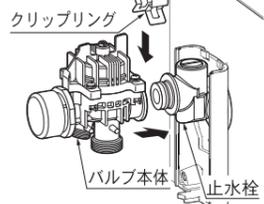
小便器に組み付けられているスプレッダーは外さないでください。

## 3 バルブ本体の取り付け

- カバー(後)を止水栓に通しておきます。



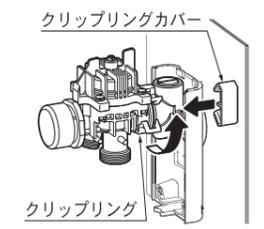
- バルブ本体を正面から止水栓に差し込み、クリップリングで固定します。



### ご注意

取り付け後、クリップリングを一回転させて、確実に取り付けられているか確認してください。取り付けが確実にないと漏水の原因になります。

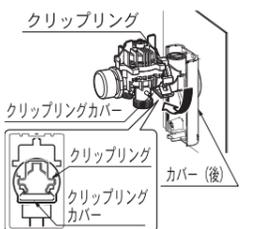
- クリップリング開口部を真横に開け、クリップリングカバーを矢印の方向から開口部に確実に取り付けます。



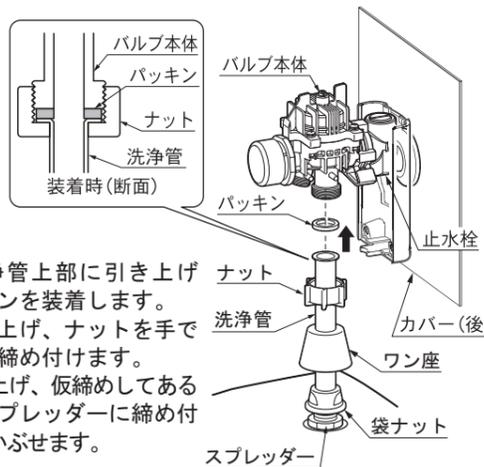
### ご注意

いたずら等で故意にクリップリングを外されたりすることのないように、必ずクリップリングカバーを取り付けてください。

- クリップリングカバーが真下にくるようにクリップリングを回します。



## 4 バルブ本体と洗浄管の接続



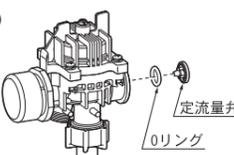
- ナットを洗浄管上部に引き上げ内側にパッキンを装着します。
- 洗浄管を引き上げ、ナットを手でバルブ本体に締め付けます。
- ワン座を引き上げ、仮締めしてある袋ナットをスプレッダーに締め付け、ワン座をかぶせます。

### ご注意

●確実に接続されていないと漏水の原因になります。ナットを締め付ける際は、工具を使用しないでください。ナットが割れて漏水の原因になります。

### ●住宅用(UF-3JT, UF-3JHT)の場合

バルブ本体に内蔵されている定流量弁と0リングを落とさないように注意してください。



## 5 水勢の調節

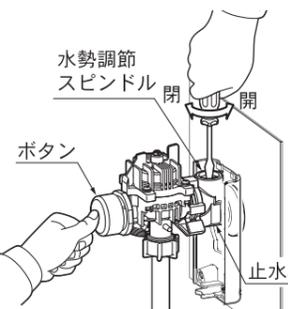
### ●標準(UF-3J, UF-3JH)の場合

- 通水します。
- ボタンを押しながら、水勢調節スピンドルをゆっくり左に回して開けます。

### ご注意

水勢調節スピンドルを一気に開けないでください。ダイヤフラムが故障の原因になります。

- ボタンを押した状態で水の流れ具合を見ながら、水勢調節スピンドルを回して水勢を調節します。右に回す(閉める)と水勢が下がり、左に回す(開ける)と水勢が上がります。  
※洗浄水が小便器から飛び出すことなく、鉢全体に水が回るように調節してください。



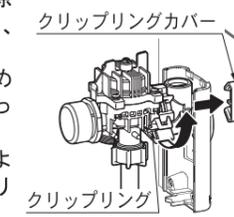
### ●住宅用(UF-3JT, UF-3JHT)の場合

定流量弁が内蔵されているため、水勢を調節する必要はありません。ボタンを押しながら、水勢調節スピンドルをゆっくり左に回して全開にしてください。

### 住宅用で水勢が弱いとき

定流量弁にゴミが詰まっていることが原因と考えられます。下の手順に従って、ゴミを取り除いてください。

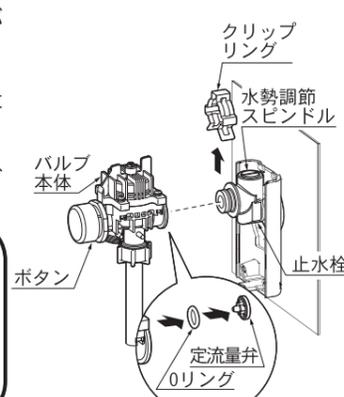
- 水勢調節スピンドルを閉めて水を止めます。(ボタンを押して、水が止まっているか確認してください。)
- クリップリングカバーが真横にくるようにクリップリングを回し、クリップリングカバーを矢印の方向に外します。



- クリップリングを取り外し、バルブ本体を止水栓から外します。
- バルブ本体から定流量弁と0リングを取り出し、定流量弁にゴミが詰まっている場合は、ゴミを取り除きます。
- 0リングと定流量弁をバルブ本体に戻します。

### ご注意

定流量弁を逆向きに取り付けないよう注意してください。逆向きに取り付けると、定流量弁としての機能を果たしません。



- バルブ本体を正面から止水栓に差し込み、クリップリングで固定します。
- クリップリングにクリップリングカバーを取り付け、クリップリングカバーが真下にくるようにクリップリングを回します。  
※リム式小便器をお使いの場合は、給水圧力が低い(0.07MPa未満)と十分な水勢が確保できず、鉢洗浄ができないことがあります。その場合は、定流量弁を取り外し、前記「●標準の場合」の手順に従って水勢を調節してください。

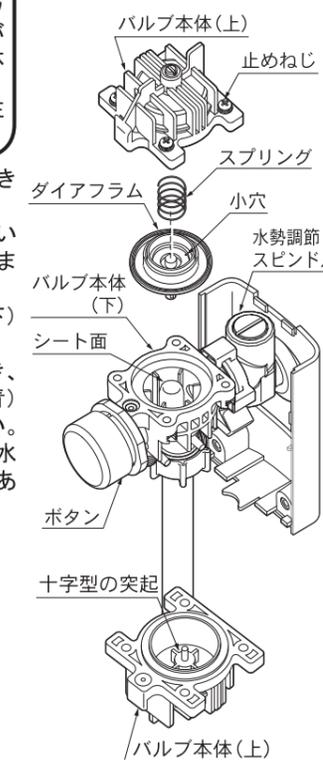
### 洗浄水が流れっぱなしになる場合

ダイヤフラムの小穴にゴミ・水垢等の異物が詰まっているか、またはダイヤフラムとバルブ本体(下)シート面の間にゴミ等が附着していることが原因と考えられます。下の手順に従って異物を取り除いてください。

- 水勢調節スピンドルを閉めて水を止めます。(ボタンを押して、水が止まっているか確認してください。)
- バルブ本体(上)の止めねじ(4本)を外して、バルブ本体(下)内のダイヤフラムを取り出します。

### ご注意

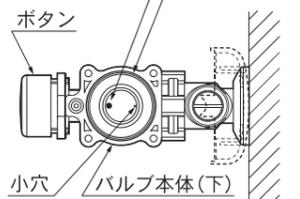
バルブ本体(上)とダイヤフラムの間にはスプリングが入っています。バルブ本体(上)を外したときにスプリングがなくならないよう注意してください。



- ダイヤフラムの小穴に息を吹きかけて異物を取り除きます。シート面にゴミ等が附着している場合は、ゴミ等を取り除きます。

- ダイヤフラムをバルブ本体(下)に戻します。(ダイヤフラムを元に戻すとき、ダイヤフラムのマーキング(青)をボタン側に向けてください。向きが合っていないと、洗浄水が流れっぱなしになる恐れがあります。)

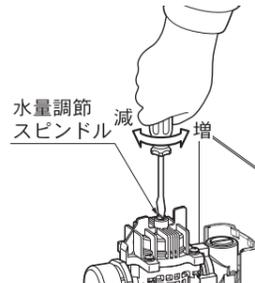
### マーキング(青) ダイヤフラム



- ダイヤフラムの上にスプリングを置き、その上からバルブ本体(上)をかぶせます。このとき、バルブ本体(上)内側の十字型の突起部に、スプリングが確実にはまるように取り付けてください。
- 止めねじ(4本)を締めてバルブ本体(上)をバルブ本体(下)に取り付けます。
- 水勢調節スピンドルを開けて水勢を調節します。

## 6 水量の調節

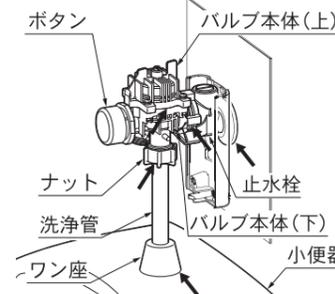
出荷時は、1回のボタン操作での洗浄水量が2Lに設定されています。したがって、2L対応小便器を使用する場合は、調節の必要はありません。4L対応小便器を使用する場合は、マイナスイライバー(小型)を使って水量調節スピンドルを左に回し、4Lに調節してください。(下表参照)



	2L 対応小便器	4L 対応小便器
小便器品番	スプレッダー式小便器 U-321RM, U-331RM, U-411R, U-431R, U-441R, U-406R	リム式小便器(直管) U-311M, U-321P, U-103, U-106, U-112, U-114 リム式小便器(ヘリウズ管) * U-104U, U-104PM, U-280, U-504 *リム式小便器(ヘリウズ管)には、洗浄管UF-111-4(180)が別途必要です。
水量調節の目安	水量調節スピンドルを右いっぱいに戻して閉めてから2回転開く(洗浄時間: 8~10秒)	水量調節スピンドルを右いっぱいに戻して閉めてから8回転開く(洗浄時間: 16~20秒) *水量調節スピンドルを開きすぎると、スピンドルが外れて漏水の原因になります。

## 7 漏水の点検

- ボタンを押して便器洗浄を行います。
- 以下の箇所に漏水がないか確認します。
  - 壁と止水栓の間
  - 止水栓とバルブ本体(下)の間
  - バルブ本体(上)とバルブ本体(下)の間
  - バルブ本体(下)とナットの間
  - ワン座と小便器の間



漏水している場合は、漏水箇所(矢印部分)を確実に接続し直してください。

## 8 カバーの取り付け

### ご注意

カバー(前)の表面を傷つけないよう注意して取り付けてください。

- カバー(前)の正面の穴にバルブ本体のボタンを通し、バルブ本体の突起部がカバー内側のガイド溝に沿うようにカバー(前)をはめ込みます。
- カバー(後)を傾けて、つめをカバー(前)のひっかけ部へ差し込み、カバー(前)とカバー(後)を取り付けます。
- カバー(前)とカバー(後)を手で挟みこむように持ちながら、プラスドライバーを使って、カバー(前)底面部のネジ(2箇所)を締めつけます。

### ご注意

電動ドライバーを使用したり、ネジを無理に締めつけると、カバー(前)およびカバー(後)を破損するおそれがあります。

- ボタン操作を数回行って便器を洗浄し、ボタンとカバー(前)に干渉がなく、ボタン操作がスムーズに行えることを確認します。

